

2013年アジア都市景観賞授賞式を開催

今年で4回目を迎える「2013年アジア都市景観賞授賞式」が、11月26日 ヒルトン福岡シーホークホテルで開催されました。

今年、「都市の誇りを育む景観」のテーマのもと、5カ国11団体が受賞し、海外から中国・韓国・香港・インドネシアから50名以上、国内は松江市・長崎市・下関市・北九州市の受賞者と領事館来賓や招待客を含む60名以上、延べ110名を越す参加をいただき授賞式・交流会は盛会裏に開催されました。

式の冒頭、開催都市代表挨拶として、福岡市の貞刈 厚仁 副市長が高島 宗一郎 市長のメッセージを代読しました。続いて、主催の4団体を代表して、国連ハビタット福岡本部本部長深澤 良信 氏とアジアハビタット協会主席の劉 興達 氏より挨拶があった後、記念講演では、日本都市計画学会理事・九州支部長・大分大学工学部教授の佐藤 誠治 氏から「アジアにおける景観の展望」と題してご講演いただきました。

アジア景観デザイン学会会長の佐藤 優 氏による選考経過報告の後には、いよいよ表彰です。

受賞都市が順番に紹介され、各受賞プロジェクトを紹介する映像が正面のスクリーンに次々と映し出される度に、その美しい街並みや自然と調和する景色などを見つめる参列者から感嘆の声があがりました。

表彰では、受賞都市の代表者2名に登壇いただき、表彰状と記念の盾が授与されました。会場は大きな拍手に包まれ、その記念的な瞬間をカメラに収めようとする姿が数多く見られました。また、各首長による受賞都市プレゼンテーションでは、その特色ある景観形成事業の説明に、参列者は熱心に聞き入っていました。

第2部の交流会では、李 中国駐福岡総領事とブイ ベトナム総領事による来賓のご挨拶に続いて、福岡アジア都市研究所の橋田会長による主催者挨拶と乾杯のご発声によって交流会が始まりました。

ユネスコの世界文化遺産に決定した「和食」を堪能し、友好的な雰囲気の中で、歓談が弾みました。会場後方に設置された受賞都市の景観事業を紹介する展示パネルを囲みながら、「都市」や「景観」をキーワードに、受賞者・参列者は交流を深め、有意義な一時を過ごされました。



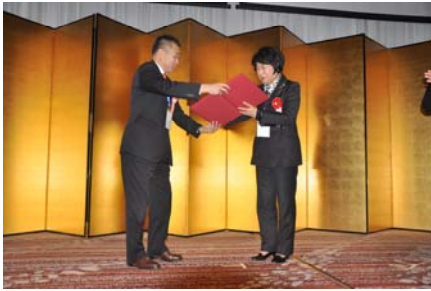
授賞式会場入り口



受付に立てられた国連の旗



国内受賞都市の観光PRコーナー



賞状授与の様子



喜ぶ受賞都市の皆さん



受賞者記念撮影



主催者代表挨拶



歓談する来賓の方々



歓談する参加者の方々



授賞式会場の様子



参加者記念撮影